

輝く2019年度に向けて 充実した春休みを!

学校だより

じりつ

第16号

発行
真和志中学校
與那覇 寛

学校教育目標

自ら学び

心豊かで

たくましく生きる

生徒の育成

◇平成三十年 修了式 「人知れず 不断の努力を！」

今日は、平成三十年度の最後を締めくくる修了の日です。ここに新垣巻樹さんはじめ一年生五十七名、新垣武輝さんはじめ二年生六十四名の皆さんの進級を認定します。さて、私はこれまでに折につけ皆さんに学校教育目標である「自ら学び心豊かで、たくましく生きる生徒」になれるよう、知・徳・体のバランスのとれた成長を目指してほしいこと、そして毎日学校に行くことが楽しく、



この真和志中学校を誇れる生徒になってほしいという話をしてきました。今日で平成三十年度の教育活動が終了します。そして四月には平成の時代が終わりを告げ新しい元号の下の活動がスタートします。この大きな節目の年に進級する皆さんに一つお話をします。皆さんはそれぞれに中学校生活に目標を持って過ごしていくことと思いますが、常に順調で楽しいことばかりではありません。努力して乗り越えなければならぬことも多いと思います。つまり「成功や目標達成の陰には、必ず他人には分からない努力がある」ということです。

国民栄誉賞は皆さんご存じだと思いますがあの賞は、野球の天才といわれホームランの世界新記録を達成した王貞治を称えるために創設されたのですが、王選手と同時期に活躍後に国民栄誉賞を受賞した長嶋茂雄さんは「努力は人の見ていないところでするものだ、努力を積み重ねれば、人が見えるほどの結果になる」といっています。また偉大な天才作曲家ベートーベンは「努力した者が、必ず成功するとは限らない。しかし、成功した者は皆努力している。」と言葉を残しています。成功の裏には必ず人の知らない努力があることを忘れず、次の学年でも活躍してくれることを期待しています。

見事に育った大木は、目には見えないですがその地下に深く、しっかりと根を下ろしています。植物は、根を支えとして枝葉を広げ花を咲かせていきます。各教科の基礎基本を身につけることは、植物が大きく成長するために大地にしっかりと根をはることに同じです。各教科の学びを関連づけて繋ぎ、より良く生きるための「知恵」を育むとともに、皆さんの可能性を広げ目標や夢を実現させるための「根っこ」です。この春休みには、皆さんが「知・徳・体」それぞれの側面から平成三十年度の自分の目標に対し「できたこと」「できなかったこと」、活動の成果と課題を明確にし、その振り返りから、成果が出た活動は継続し、課題についてはその改善策を工夫して、早速実践にうつして下さい。四月から始まる新年度に向けた大切な準備期間です。一人一人が、新年度の知・徳・体の目標を思い描きながら、しっかりと「根」をはる努力をスタートさせて下さい。

終わりに、年度末・年度初めのこの時期は、事故なども多くなるといえます。事故やトラブルに巻き込まれないよう安全に安全

に過ごして下さい。それでは、四月八日に元気な顔で登校してくれることを期待して式辞とします。

